

「授業到達目標の達成度に関する自己点検評価」 報告書

ご回答日：令和3年 8月 24日

科目名	ベンチャー企業論	区分	全・人・心・子・ 経 ・資	担当者	内田成
-----	----------	----	----------------------	-----	-----

※「区分」欄は、科目の該当区分に○を記入してください。（全：全学共通科目、人：人間文化専門科目、心：心理専門科目、子：子ども発達専門科目、経：経済経営専門科目、資：資格課程科目）

到達目標
今後のわが国の経済・産業活性化の担い手となるベンチャー企業の特徴と意義についての理解を基本的理論およびさまざまな事例の研究を通じて身につけること

到達目標がどの程度達成されたかをご記入ください。
授業全体回数の約3分の1をベンチャー企業に関する基本的な説明に費やし、残りやさまざまな起業の事例を紹介しながら、それぞれの企業がどのような特徴を持っているか、また、起業家はどのような環境で、育ち、どのような教育を受け、何をきっかけに、起業し、その後、その企業が発展していったのか、を中心にすすめてまいりました。コロナ感染の影響もあり、A,Bグループ別に隔週で対面授業を行った形式のため、かならずしも、詳細な説明ができず、それぞれのケースの理解度にバラツキが生まれてしまったことは、とても残念でした。しかし、定期試験の結果をみると、各人が、それぞれのケースをかなりの程度まで、読み込み理解していたことがわかり安堵しました。より内容を理解できるよう配布資料の形態や課題の内容を精査することを心掛けてゆきたい、と思います。

- ◎ ご担当科目の到達目標は、提供学科の人材養成目的や教育目標が掲げる項目のどれに対応しているか、該当するもの全てに○を付けてください（全学共通科目及び資格課程科目は除く）。

【人間文化学科】

専門的知識を支える土台として幅広い教養を備えたゼネラリストの素養を身につけている。	
論理的かつ創造的な思考能力を用いて、人間や社会が抱える諸問題を考察する力を身につけている。	
情報機器を用いて多様な情報を収集し、的確な選択と判断に基づいて諸問題を処理する情報活用能力を備えている。	
日本と世界の文学、哲学、言語学などに関する専門的知識を修得し、言語コミュニケーション能力を活用して、国際文化理解を促進できる力を備えている。	
日本と世界の文化、思想、歴史などに関する専門的知識を修得し、それらの知識を生かして国際化する社会に貢献できる力を備えている。	
人間の社会行動や心理的問題に関する専門的知識を修得し、人間尊重の立場から人々が直面する諸問題を解決し得る能力・技能を備えている。	

【心理学科】

心理学の知識の修得により、自己理解及び他者、社会への理解を深めることができる。	
心理学の方法論並びに各自の関心領域に関する専門的知識や技能を獲得している。	
職場や地域、家庭などで起きる心理的事象を科学的に理解する力を身につけている。	
個人の発達や適応に関する十分な知識を持ち、他者への理解や支援に活用できる力を身につけている。	
人々の福祉のために心理学の知識と技能を活かす倫理観を身につけている。	

【子ども発達学科】

子どもの教育・保育に情熱と使命感、高い倫理観をもち、子どもの発達の理解に基づく確かな知識・技能と実践力を身につけている。	
家庭や地域の子育て環境の変化に対応して、保護者の教育・保育力を高め、地域における子育ての相談や支援に的確に応じられる高度な専門的知識・技能を身につけている。	
国際化や価値観の多様化、様々な文化を背景とした子どもの生活習慣に対応し、多様なコミュニケーションの技法など、グローバルな視点に立って教育・保育ができる能力を身につけている。	

【経済経営学科】

豊かな人間性を備えた企業人になるために、幅広い教養を身につけている。	○
経済のグローバル化に対応できるように、経済、経営、会計に関する高度の専門性と、多様な分析視角を身につけている。	○